



県大会出場を決め優勝カップをうれしそうに受ける太田部長（中央）

第四十一回久慈地区中総体が、六月十四、十五日の両日久慈管内の市町村を会場に行われました。

うれしい県大会出場 普代中バドミントン部 完全優勝

村社会体育館を会場に行われたバドミントン大会では普代中学校（寺林拓也校長、生徒百十九人）のバドミントン部（太田俊英部長、部員二十人）は、団体の平成十一年から連続五回目の優勝。

個人戦シングルス、ダブルスとも十二年からの四年連続の優勝というダブル快挙。団体戦はリーグ戦で行われましたが、同中は久慈中を二〇で下し、圧倒的な強さで優勝。個人戦シングルスの決勝は普代中生同士の戦いとなりましたが、太田託慎君（三年）が中居裕君（同）を二〇で下し、優勝しました。一方、ダブルス決勝は普代中太田俊英君（三年）・松頭潤（同）ペアが同中の菅渡翔君（三年）・金子広樹君（同）ペアを二〇で下し優勝。普代中の完全優勝でした。太田部長は「一戦必勝で上位入賞を目指し、頑張ってください」と大会に向けて闘志を燃やしていました。県大会は七月十九日から二十日まで一関市で行われます。



個人戦で県大会へ出場した山下さん（右）とキップ選手（左）

女子ソフトテニスも 県大会へ出場決める

ソフトテニスは久慈川近隣公園テニスコートを主会場に行われ、普代中ソフトテニス部女子（関口深里部長、部員二十四人）は団体で予選リーグ一位で通過したものの、決勝トーナメントでは長内中に一―二で惜しくも敗れました。しかし、宇部中に二―〇で県大会出場決定戦を勝ち、県大会出場権を獲得しました。個人戦では山下幸子さん（三年）・羽場千恵美さん（同）ペアが、三位決定戦で勝利。県大会へのキップを手に入れました。普代中ソフトテニス部女子は、団体で予選リーグ一位で通過したものの、決勝トーナメントでは長内中に一―二で惜しくも敗れました。しかし、宇部中に二―〇で県大会出場決定戦を勝ち、県大会出場権を獲得しました。

のぼっちが初優勝！

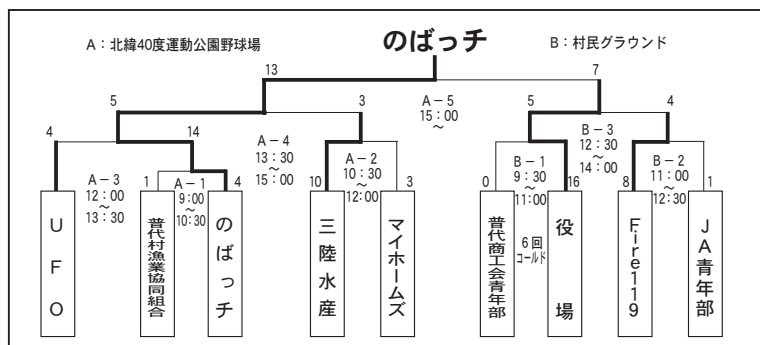
第47回国保旗争奪野球大会



初優勝を飾った「のぼっち」

四十七回目を迎えた国民健康保険争奪野球大会が、六月四日、北緯四〇度運動公園野球場と村民グラウンドで行われました。職場、職域から昨年と同じ九チームが参加し、熱戦を展開しました。決勝は、のぼっち（混合チーム）が役場を十―三―七で下し、初優勝に輝きました。のぼっちは、一回戦普代村漁協を四―一、準決勝では、三陸水産を五―三と下し決勝

大会結果



に進みました。一方の役場は、普代商工会青年部と対戦し十六―〇で初戦突破。準決勝ではFire 119に五―四で勝利。決勝に進みました。初優勝した「のぼっち」チームの上向幸生選手（堀内・二九）は「自営業は、優勝できるとは思っていませんでした。とてもうれしいです。続けて優勝できるように来年も頑張ります」と、さわやかに語ってくれました。